

北郷地区市民意見交換会 議事要旨

○と き：令和4年12月17日（土）午後2時～4時

○ところ：北郷まちづくり会館

○テーマ：①市役所組織変更について

②地域防災について

③こども政策について

④まちづくり会館について

○出席者：41名

Q1	<p>・家にいてもしゃべらないので、皆が集まり話し合う場が必要だと思う。高齢者や認知症にやさしいまちづくりとして、勝山市の今後の取り組みを聞きたい。アイデアはあるが、予算がなくてできないと言われる。</p>
A1	<p>・介護人材が不足しており、利用者を定員まで受け入れられない状況がある。さくら荘では、インドから人材を招き人材不足を補っている。市も介護に従事していく方の支援をしていく。また、地域の共助体制にも支援していきたい。皆が集まる場所については、にこにこ地域づくり交付金を活用することも一手だと思う。高齢者の移動については、バスのフルデマンド化の先行実施を1月末から実施する。予算については、まちづくりの予算もあるので、担当職員に相談してほしい。</p>
Q2	<p>・市の河川のライブビデオを見ていたが、静止画では急な増水に対応できないので、雪や雨の場合は動画をまとめたサイトを作り、情報提供すると良いのではないかな。</p> <p>・新中学校が勝山高校と併設となった場合、距離的に北郷が一番遠くなる。スクールバスを導入した場合、学校で体調が悪くなった時の帰りの対応はどうするのか。保健室の対応についても不安に感じている。出来るだけ早めに保護者に具体的に伝えてほしい。</p>
A2	<p>・ライブカメラについては、市で24基設置して、冬以外は河川の静止画を提供している。カメラの設置台数の増と、出水期には撮影間隔を短くすることを考えている。</p> <p>・新中学校の情報提供について、役員と協議中である。今回いただいたご意見・課題についてしっかりと取組んでいきたい。</p>
Q3	<p>・こども会館と中央公園のリニューアルについて、富山県が景観や美術館等を上手に作っているのを参考にしてほしい。勝山で恐竜博物館以外の目玉となる公園を作ってほしい。デザインも素敵なものにしてほしい。</p>
A3	<p>・市内の親子が喜ぶようなものを目指して、それが市外の人にも集まるよ</p>

	うなものになれば良い。若い人の意見もたくさん聞きたいので、よろしくお願ひしたい。
Q4	<ul style="list-style-type: none"> ・こども会館について、室内でも小さい子どもが遊べる場所ができると聞き、楽しみにしている。 ・リサイクルに関して、福井市は勝山市よりも細かくごみを分別している。未来のことを考えると分別を徹底した方が良いと思うが、勝山市の今後の状況はどうか。
A4	<ul style="list-style-type: none"> ・こども会館と公園を全体的にフラットにして改修を考えている。ホール機能を残しながら、駐車場の問題も考えたい。 ・リサイクルのことは、大野と協議をしながら、持続可能な社会づくりに取り組んでいきたい。今後、プラスチックはリサイクルに入る。しっかりとSDGSに対応し、ごみの分別はしっかりとやっていきたい。
Q5	<ul style="list-style-type: none"> ・広報かつやまの新年の号で勝山の全景写真が掲載されるが、北郷や鹿谷が写っておらず寂しい。 ・北郷からは図書館も遠く不便で、市民会館の映画上映会や教育会館も行きづらい。同じ税金を払っていても利用しにくいので配慮をお願いしたい。 ・桜の名所はたくさんあるが、紅葉の名所はあまりない。鯖江は西山公園があるが、勝山市でも紅葉のきれいな場所を作っていただけたらと思う。
A5	<ul style="list-style-type: none"> ・勝山の全景については、向山から撮影している。今後は伊知地・坂東島が入るように撮影したい。 ・市内の移動手段については、子どもや高齢者が安全に使えるように考えたい。スクールバスの活用についても検討したい。 ・紅葉は越前大仏や勝山城博物館など市内でもきれいな所があるので、人為的に作らなくても良いと思う。柔軟に幅広く考えていきたい。
Q6	<ul style="list-style-type: none"> ・防災について、伊知地は岩屋川より低いので、砂防ダムが決壊したらどうなるのか、砂防ダム自体の耐久年数もどうなのか心配である。
A6	<ul style="list-style-type: none"> ・砂防ダムの耐久年数については確認する。決壊の話についても土木に話をしてみる。
Q7	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社協のコーディネーターをしているが、まちづくり会館のFAXや電話を一緒に使えない。市の職員で地域に入ってもらえる人が少なくなっている。まちづくり会館となり、社協としてどう接していったらよいか。
A7	<ul style="list-style-type: none"> ・明日からでも、自由にまちづくり会館のFAXや電話を利用してほしい。まちづくり会館は地域福祉の施設でもあるので、その仕事に区分か

	<p>あってはいけない。すぐに改善したい。館長のもと、社協とともに地域福祉をやっていく体制にする。</p>
Q8	<p>・市外で仕事をしている。勝山市で仕事をしたいとなった場合、新たな産業や企業誘致を考えているのか。</p>
A8	<p>・市内の産業振興は重要で、企業誘致は法人税という面でも重要である。市内に若い人が働きたくなるような職場がないという意見は聞く。皆が働きたい会社はそれぞれ違うので難しい。自分のやりたいことを生み出す起業支援は重要だと考えているし、今後は恐竜学部の開学や恐竜博物館の拡大も予定されており、観光産業の雇用の受け皿は大きくなる。</p>
Q9	<p>・8月の大雨の際に避難所を利用している人がほとんどいなかった。来ようと思っても来れない人もいるのでは。</p>
A9	<p>・今回の豪雨では市内全域に避難指示を出し、全まちづくり会館を一時避難所とした。川が氾濫する前、また暗くなる前に、早めに避難する決断が重要になってくる。市としても迅速で正確な情報収集と情報提供をしていく。</p>
Q10	<p>・上森川にある防災無線は、新町では何を言っているのかわからない。危険をあおられているように感じる。拠点を変更できないだろうか。</p>
A10	<p>・防災無線は市内で63本あるが、数を増やしても何を言っているのか分からなくなる。防災無線に代わる方法で周知できないか模索している。急ぎ対応したい。防災無線については「今何かある」という早鐘的な使い方ができないか考えている。</p>
Q11	<p>・新中学校やこども会館などの財源は確保できているか。市民税が上がったようにも思う。</p> <p>・現中学校はどのような使い方をするのか。</p>
A11	<p>・市民税の税率は変えていない。将来の財政見通しを考えながら調整している。</p> <p>・現中学校の跡地の活用については、もう少しお時間をいただきたい。</p>
Q12	<p>・北郷地区では独居老人への配食サービスをやっていない。以前さわらび会で、頼まれて単発で配食を行った際に好評だった。配食をする目的は、高齢者の健康状態を見守ることであれば、サービスの対象基準に所得制限を設けるのはおかしいのではないかと。社協の事業だが、市も入ってほしい。</p>
A12	<p>・配達サービスをしていただいてありがたい。いただいたご意見について持ち帰り対応したい。</p>
Q13	<p>・保育園に広域入所で子どもを預かってもらおうとしたが、市の窓口ではできるといわれたが、保育園では断られた。確認してほしい。</p>

	<p>・北郷はこども会館から距離が離れているので、子どもをちょっと遊ばせるような場所がない。地域にも公園があるが、遊具は老朽化し撤去されているところもある。高齢者が散歩して話をする場所もない。地域にも子どもや高齢者が憩える場所がほしい。</p>
A13	<p>・広域保育の事は調べさせてほしい。</p> <p>・公園については、区長からも意見が出ている。今日はにこにこ地域づくり交付金に関わる人がたくさん来ているので、その使い道の一つとして検討したいただいても良い。それに対しては市の方でも支援したい。</p>
Q14	<p>・独居老人の方が施設に入ったり、亡くなったりして空き家が増えている。空き家を放置すると危険であるので、空き家を活用して活性化することについて考えをお聞きしたい。</p>
A14	<p>・現在空き家が500件あり、危険な状態となっている特定空き家については12件あり、1件ずつ、家主や親族に対応している。市としては安全という観点から対応していきたい。にこにこ地域づくり交付金を活用する中で、空き家の活用についても協議していただきたい。</p>
Q15	<p>・旧木下家住宅について、今後市としてどのように活用していくか教えていただきたい。</p> <p>・にこにこ地域づくり交付金だが、意見がまとまらず、使い道に困っている。今後事業を立ち上げた場合、運営について市のバックアップがあるのか伺いたい。</p>
A15	<p>・旧木下家住宅については、まほろば、ゆめおーれも含めて文化施設としての活用を考えている。委託や指定管理は難しいが、検討していく。</p> <p>・にこにこ地域づくり交付金を活用して何をするか、一つにまとめていくのは難しいと思うが、進めていってほしい。この交付金を活用しているから、とって地域への事業をやめるということはない。移動の確保や集まれる場所について議論していただければよい。</p>
Q16	<p>・勝山では年間100人程しか子どもが生まれないうちで、勝山高校はいつまで存続できるのか。校舎を建てるなら50年先を見据えるべきである。今の案では無理がある。</p>
A16	<p>・勝山高校が今後どうなるのかは、ここで話できるものではない。全ての子どもを勝山高校に集める必要はないと思っている。県立高校と連携して進めていきたい。</p>

以上